第5期地域福祉活動計画(案)パブリック・コメントに対する意見について

意見の募集期間	令和7年1月15日(水)～2月14日(金)
対象	(1) 市内在住・在勤・在学の方 (2) 市内に事務所または事業所を有する個人または法人、その他の団体 (3) 市内で活動をされている方
回答方法	(1) 専用フォーム (2) 国分寺市社協ホームページ上にある意見提出シートに記入の上 下記のいずれかの方法で提出 ①郵送 ②メール ③FAX(042-324-8722) ④本会窓口
意見募集の結果	5件(3名)

No.	計画への意見	意見・提案に対する委員会の考え方	計画への反映
1	障害のみならず外見と経歴によって孤立・居場所の喪失などを経て改善しようにも、空回りや多方面からの圧力によって上手く噛み合わせが行ってない傾向もある。全ての人間を支え合うのは無理だとしても、可能な限り「声」を拾ってあげて欲しい。 それは社協の関係者のみならず、「市民全体」がそうでなければならない。	P28に記載している「基本目標Ⅲ」の取り組み1「地域の課題や困りごと気づく」や取り組み2「身近に相談できる人や場をつくる」等を通じて、地域に暮らす様々な方の声や、思いを受け止める場を作り、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。	P28に記載
2	5.具体的な取り組みとしてP.16以降、それぞれに地域でできることの例／社協の主な取り組みが記載されているが、地域でできることを地域住民に浸透させていく方法がわからない。ここに書けば多くの市民に伝えたことになるのか？	策定した計画を、これからの5年間で推進、実現していくことが重要だと捉えます。地域懇談会「つながる懇談会」等を開催し、計画内容の説明や、地域について市民、関係機関団体等と一緒に考える機会を通じて共有と推進を積極的に図っていきたくと考えます。	なし
3	地域でできることの内容も新たな視点を加えているようにも見えず、これまでも言われてきたことの繰り返しの思える上に実践事例まで載っているため、第5期の計画ではなく、ずっと第4期の振り返りを読んでいるような気になる。計画に実践事例を載せたのなら、やってみた結果を踏まえての今後の計画を読みたかった。	第4期計画策定中と実施期間の一部がコロナ禍と重なっていたため、十分に組み立てていない内容がありました。その背景をふまえ、第4期計画の一部については、引き続き取り組んでいく必要があると捉え、前期を踏襲した計画内容としました。 また、実践事例については現在地域で行われている様々な取り組みを多くの市民に知っていただくこと、地域活動をイメージしやすくなることを目的として掲載しました。 現在の取り組みの重要性を再確認しながら、実践を着実に進めてまいります。	なし
4	第5章「資料」アンケート結果(5)は、問いと回答結果がかみ合っていない。 問いは(6)と同じ文面で回答結果は(4)と同じ。	第5章「資料」アンケート結果P.37(5)の問いと回答について訂正し、正しいものを記載しました。	あり
5	基本目標Ⅱの取り組み2に関しては、以前から地域の活性化には多様な分野の団体や法人の参画が不可欠と考えていたので、この理念にとっても共感している。そこで、買い物に困難を抱える高齢者や障害のある方が、市内のスーパーや商店のセルフレジで会計する時に見守りや手助けをする「買い物応援ボランティア」を提案する。これは、病院ボランティアのような形態で、一定の研修を受けたメンバーが短時間でも定期的に地域の店舗で活動するというもの。市・福祉団体・事業所・市民が協働する取り組みが今後も更に増えることを望む。	「基本目標Ⅱ」の取り組み2「さまざまな分野の団体が協働する」を進めていく上で、様々な取り組みが必要となってきます。今後事業を実施していく上で、参考にさせていただきます。	P24に記載